

「子ども議会がはじまった」

これまでの子ども会議の積み重ねを経て、平成20年、いよいよ子ども議会の開催が決まりました。子ども会議を子ども議会に発展させるために、市では次のような整理を行いました。

《子ども会議の成果》

子ども会議では、地域の大人と子どもが自由に意見交換できる場を確保することができ、「こども育成計画」による5ブロックの地域のネットワークを作る上で有効な手段であった。

《子ども会議の問題点》

「子ども会議」の名称では子どもが集まりにくく、お祭りやイベントの要素が強くなってしまふことや、「まちづくり」の視点を地域レベルで継続させることが難しいことが問題となっていた。

《はちおうじ子ども議会へ》

意見表明の場を「はちおうじ子ども議会」にすることで、子どもの発言を地域から市全体への意見表明へとレベルアップさせ、「まちづくり」の視点を継続させることができる。

また、「議会体験」という子どもや保護者にわかりやすい内容を提示することで、今まで参加できなかった多くの子どもを対象とした取組みになる。

そして、「わたしたちが考えるまちづくり～十年後もこのまちが好きですか？」をテーマに子ども議員の募集が始まりました。

子ども議会の事業概要

《内容》

子どもの視点で八王子市のまちづくりについて提案を行う。

《実施方法》

5月に市長や市議会議員の代表者と一緒に結団式を行い、市についての事前学習会を3回程度実施する。夏休み期間中には、市議会本会議場を使って「はちおうじ子ども議会」を開催する。また、事前に研修を受けた「八王子市学生サポーター」が、子ども議員の秘書役として活動する。なお、八王子市議会と共催で開催する。

《意見の反映》

市では平成21年度に、子ども政策を総合的に推進するための「八王子市こども育成計画」の後期計画を策定する。子ども議員の意見は提言書としてまとめ、計画の素案作成を行う八王子市こども政策推進協議会に提出する。

《目的》

成人後、責任ある市民として権利や義務を正しく理解し、社会参加するための基礎教育。

「子どもの権利条約」にある「意見を表明する権利」を具現化する場の確保。

「八王子市こども育成計画」の後期計画策定に、子どもの意見を反映。





募集

「わたしたちが考えるまちづくり～十年後もこのまちが好きですか?」をテーマとして子どもの視点で八王子市のまちづくりについて提案を行うことを目的とする。

- ・ 応募方法：作文（４００字） ３つのテーマから１つを選択。
テーマ「私が好きな八王子」、「わたしが市長だったら」、「こんなまちに住みたい」
- ・ 応募資格：市内在住在学の小学校５年生～中学校３年生
- ・ 募集人数：約１５名 （公募１５名のほかに地域ブロック推薦１５名）

これに対して最終的には、公募２５名（締切日受付分）、地域推薦１７名の計４２名が子ども議員として誕生しました。（ちなみに、本当の八王子市議会の議席数は４０です。）

「結団式」

子ども議員決定の通知を受けた子どもたちが初めて顔を合わせる日が来ました。もちろん学生サポーターとも初めてです。みんな緊張していましたが、さすが、この日のために研修を重ねてきた学生サポーターだけのことはあり、子どもたちに上手に話し掛けながら雰囲気づくりができました。

結団式の進行も学生サポーターの役割でした。市長、市議会議長を始め、多くの来賓や保護者の見守る中、代表して決意表明をした子ども議員からは「意見の合わないときもあるかもしれないが、１０年後にもっといいまちになるように精一杯努力して話し合いたい」という力強い言葉がありました。

その後、出席していただいた市議会議員の代表の皆さんに対し、「議員の仕事は?」「今八王子で一番の課題は何?」など、積極的な質問が飛び出しました。八王子が好きな子どもたちが集まってくれたことを確認できたような結団式でした。



司会は学生サポーター



市長からの認定書授与



子ども議員の決意表明

はちおうじ子ども議会はここから始まった、とも言える言葉です。ここでは当日あいさつをお願いした子ども議員が「これを話したい」と事前に事務局に送ってくれた作文を掲載します。

皆を代表して決意を述べたいと思います。

僕はこの日を待ち望んでいました。八王子中から集まった積極的な皆と出会えることを楽しみにしていたからです。

みんなが議員になろうと思ったのは様々な理由があると思いますが、僕は、自分の住んでいるまちを良くしたい、大人になって子どもができたときに、その子ども達にとってもよいまちにしたい、つまり未来の子ども達のために、子どもの僕達が行動しなければならないと強く思ったのでなりました。

皆も八王子を良くしよう、という思いは一緒だと思います。そんな心をしっかり受け止められる場所にしたいです。時には、お互いの意見や考えが合わず、激論になるかもしれませんが、心と心で話し合えば、最上の策が得られるかもしれません。子どもならではの意見を活発に出せば良いと思います。

最終的には結論を出すのですが、このまちが十年後に、もっと良いまちになるために、精一杯努力し、話し合い、良い結論を出したいです。そのためには、今日から始まる事前学習会でしっかり学習しなければなりません。学習してこそ8月31日の子ども議会が成功するはずです。

学生サポーターや関係者の方々には、わからないことばかりで教えてもらうことも多いと思いますが、よろしくお願いします。

最後に半年間を共にする皆へ。

この半年間を皆が共に成長できるように、ということと、10年後には大人になっています。その時に、子ども議員を経験して良かったと思えるよう、頑張っていきましょう。

(子ども議員代表：西野広樹 議員 中学2年)



代表による決意表明



来賓の市議会議員の皆さん

結団式・第1回学習会

結団式

- ・ 日時：平成20年5月10日(土) 午後1時～2時15分
- ・ 場所：市役所議会棟 全員協議会室
- ・ 内容：子ども議員認定式・子ども議員代表挨拶・市議会議員との質疑応答等

第1回学習会

- ・ 時間：午後2時30分～4時
- ・ 場所：市役所 会議室



- ・ 内容: アイスブレイク、交流ゲーム、フリートーク「私たちのまちについて話をしよう」、クイズ「八王子ってこんなまち！」
自分の住んでいるまちのことをほかの人に説明する。好きなどころ、嫌いなどころ。
クイズ形式で市のことを知ろう。人口、出生数、ゴミの量など。



第1回学習会は和やかに



クイズ形式で八王子を知ろう

「施設見学」

「百聞は一見にしかず」のとおり、市のことを知ってもらうには今、市として力を入れているところを子どもたちに見てほしい、という思いがありました。しかしきっと子どもには子どもの見たいところがあるはずです。結団式の後、子ども議員には次のような宿題を用意しました。

その1 皆さんは どんなことに興味があって、 どんなことを市長や市の人に聞いてみたいですか？

4 2人が別々の考えをもって、言いたいことはたくさんあると思います。でももしかしたら、同じようなことを考えている人がいるかもしれません。だから、今度会う時までにそんな話が出来よう、今日配ったファイルに と を書いてきてください。調べてみたいこと、聞いてみたいことがあったら、こども政策課や市の関係するところに聞いてもいいです。

【考え方のヒント】それは、どんな分野の質問・意見でしょう？ 子どものことなら福祉、教育 ゴミ、公害は環境 ほかにも道路、商店街、高齢者、障害者、自然のこと、農業のこと・・・

その2 6月28日の市内施設見学はどんなところを見てみたいですか？

子ども議員応募の作文もそうでしたが、多くの意見が環境問題に集中しました。また、八王子というまちをもっと広くアピールするには？開発が進む町について、子どもの施設について、などの質問が出ました。

そういったことを参考にした結果、見学先として、市民協働による市内初の「手作り公園」 環境問題を理解するための清掃工場 観光、食、農業、交通を考えるための「道の駅」の3か所が選ばれました。

どこもほとんどの子ども議員にとって初めての場所らしく、解説をしてくれた地域の方や施設の職員にたくさんの質問をし、熱心にメモを取る姿が見られました。



第2回学習会(市内施設見学)

施設見学

- ・ 日時：平成20年6月28日(土) 午前9時15分～午後2時30分
- ・ 見学施設：小田野中央公園、戸吹清掃工場、道の駅八王子滝山

第2回学習会

- ・ 時間：午後2時30分～4時
- ・ 場所：市役所 会議室
- ・ 内容：見学のおさらい 見てきた情報を整理する。「委員会を作ろう その1」



小田野中央公園で地域の方から説明を聞く



第2回学習会～見学のまとめ

「合宿」

第2回の学習会の後、学生サポーターを悩ませたのは「委員会づくり」でした。子ども議員はそれぞれ自分の議論したいテーマを持っていましたが、それがどの「委員会」として扱う課題なのかを判断することは大変難しい作業でした。その上、誰ともいっしょにならないことを提案したい子や、自分の考えがまとめられない子もいました。

そこで、次の学習会までに宿題としてもう一度自分が話したいテーマを考えることと、それを元に「委員会」を決めることを子ども議員に伝えました。そして、子どもたちの疑問に答えるため、あらかじめ質問を合宿前に出してもらい、それに答えられそうな庁内の所管担当者に相談しました。そして事務局が調整をし、学習会のプログラムに、「子ども議員と担当職員とのヒアリング」を取り入れました。

第3回の学習会は、子ども議員にとことん議論をしてもらいたい、という意向から1泊2日の合宿で行いました。これが2日間で行った子ども議員の学習会カリキュラムは次のとおりです。

子ども議員学習会 2008.07.30

第3回子ども議員学習会 カリキュラム

1 考えをまとめる

- ① 宿題を返す。
- ② 「クモの巣ウェブ」を作成する。→サポーターは机間巡視して、書けない子や迷っている子の相談相手になる。(考え方をまとめたり、方向を絞るアドバイスはしても良い。)
- ③ シート2を作成。(再グループングのための第1・2希望調査)
- ④ 自分の興味のある人から話を聞く。→担当者ヒヤリング
担当者ヒヤリング…市役所の所管から担当者が来て子ども議員の質問に答えたり情報提供をする。
参加予定所管:児童青少年課、観光課、交通政策課、公園課、環境政策課、環境保全課、ごみ減量対策課、学校教育部施設整備課、生涯学習総務課、図書館 ☆よろず相談は事務局で ※ヒヤリングをしている間にクモの巣ウェブとシート2をまとめる。

2 グループ(委員会)化

- ① シート2とヒヤリングを元に子ども議員を再グループ化する。前回のグループにこだわらず、グループを変わってもいい。ただし、グループは7つを目途に、4人以上で成立させること。4人以下の場合は、その後のグループディスカッションが難しいため不可とする。(第2希望に移ってもらう。)
- ② グループを作る時は、サポーターは子ども達の話を聞きながらグループができるように誘導する。
- ③ サポーターは二人一組でグループにつく→「秘書」として

3 グループディスカッション

出来たグループで質問・提案を考える。市長にできる質問・提案はグループで一つもしくは二つなので、グループ内で意見交換をして決めること。誰かのをベースにしても新たなものをみんなで考えてもいい。→「ワークショップの進め方」参照

※【考え方】

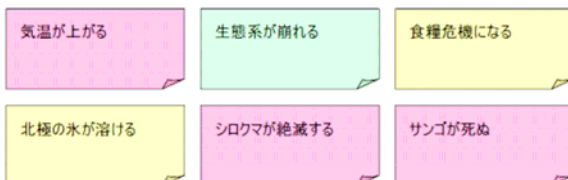
- ・現状を考える 「私の学校では…」、「今日本では…」、「八王子市は〇〇な町です。それは…」
- ・課題、問題点を挙げる「××なところが問題だと思います。」「△△が課題です。」
- ・質問・提案する「そこで質問です。…」「そこで私たちは提案します。」

4 質問・提案の作成

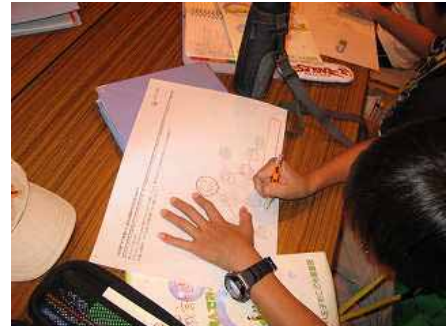
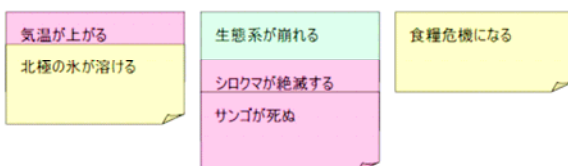
- ① 話した内容をまとめる。
- ② 「発言通告書」に落とし込む。
- ③ 完成!

ワークショップの進め方の例1 テーマ「地球温暖化」

- ① 自分が考えてきた「宿題」の発表…提案したいことについて一言
- ② 「地球温暖化」って何だろう?…思ったことを付箋に書いてみよう



- ③ 同じ仲間で集めよう



クモの巣ウェブを使って頭を整理。



市の担当者からヒヤリング。

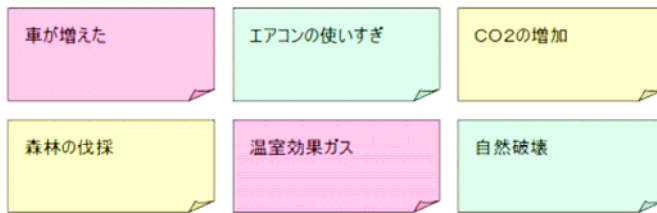


委員会(グループ)をつくって話し合い開始。

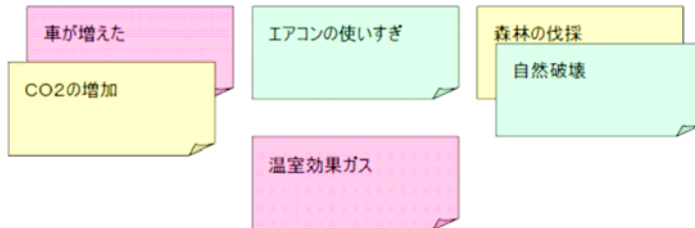


出てきた意見を張り出します。

④ 原因を考えよう

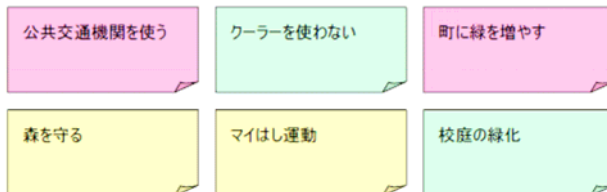


⑤ 同じ仲間で集めよう

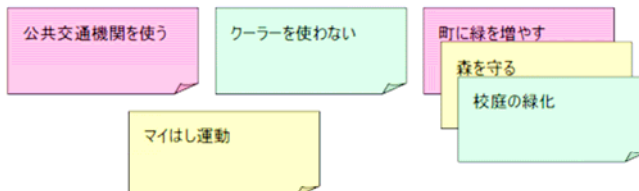


⑥ 自分達でできることは何？

ここが重要！



⑦ 同じ仲間で集めよう



⑧ 子どもとして何から始めよう、子ども議員として何を提案しよう こんなふうに考えたら…

ここが重要！

- ・ 身近なところから始められる(家で、学校で、地域で)
- ・ みんなで取り組める(私が、家族が、地域の人が)
- ・ アピール性がある(「よし、やろう」と思える、「大切だ」ということが伝わる)

➡ 「市内の小中学校の校庭に芝生を植えよう」

⑨ メリットをあげよう

- ・ 地域の緑化を進める
- ・ 温度の上昇を押さえる(実際、砂利の校庭との温度差 8.3℃)
- ・ 安全性の向上
- ・ いやし
- ・ 地域コミュニティ(芝生を育てるボランティア活動)



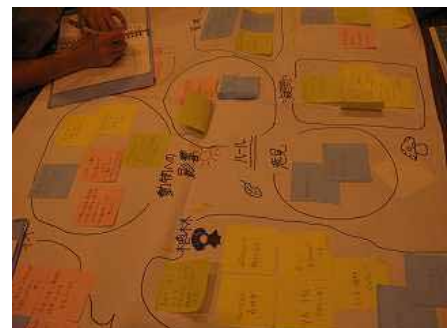
資料を見ながら提案の検討。



番外。学生は夜遅くまでミーティングです。



出した意見を整理します。



かなりまとまりました。



- ⑩ 付箋に書いたものをまとめて、「発言通告書」(提案)を作ろう
文章化するのは秘書の役目です。サポーターさんよろしく！



最後の仕上げは発言通告書作成です。



八王子市子ども議会

平成20年7月31日受理 No.

はつげん つうこくしょ

発 言 通 告 書 (例)

はちおうじ子ども議会議長 殿

はちおうじ子ども議会 温暖化防止 委員会

発 言 題 目	内 容 (具体的に)
地球温暖化の防止策について 「市内の小中学校の校庭に芝生を植えよう」	<p>【現状】 今私たちは、地球温暖化による影響から、たくさんの危機を迎えています。 例えば、気温の上昇は北極の水が溶かしシロクマは絶滅の危機に陥ったり、海面の上昇で消えてしまう島があったりしています。 また、砂漠化が進むと作物が取れず、食料難になります。</p> <p>【原因・課題】 これには「森林伐採による自然破壊」、自動車やエアコンの使用などによるCO2などの温室効果ガスの増加など様々な原因が考えられますが、その多くは私たち人間によるものです。</p> <p>【質問・提案】 私たちに出来ることとして、公共交通機関の利用やゴミを減らすこと、マイはしを使ったり、エアコンの使用を控えるなど、いろいろなことが考えられますが、私たち子ども議会は、「市内の小中学校の校庭に芝生を植えよう」を提案します。 その理由として、 ・ 地域の緑化を進める ・ 温度の上昇を押さえる(実際、砂利の校庭との温度差8.3℃と言われていました) ・ 安全性の向上 ・ 生徒にやさしい効果がある ・ 芝生を育てるボランティア活動など、地域コミュニティが進む が考えられます。公共施設の緑化から始めることが効果的だと思いますがいかがでしょうか？ 市はどのような対策を考えていますか？</p>

完成！

第3回学習会(合宿)

- ・ 日程：平成20年7月30・31日(水・木) 宿泊施設：夕やけ小やけふれあいの里「おおりの家」

第3回学習会

- ・ ヒアリング協力所管課...こども家庭部児童青少年課、産業振興部観光課、環境部環境政策課、環境保全課、ごみ減量対策課、まちづくり計画部交通政策課、まちなみ整備部公園課、学校教育部施設整備課、生涯学習スポーツ部生涯学習総務課、図書館

- ・ 委員会...みんなの遊び場委員会
緑の学校委員会、
エコバッグ推進委員会
たかんこう委員会
Greener City 委員会
子どものしあわせ委員会
八王子交通委員会





「本会議」

本会議当日、子ども議員は緊張した面持ちで午前中のリハーサルに望みました。ここで子どもたちを驚かせたのは本物の議員席にある、“まるで本物の議員のような”自分の名前でした。



この日出席した子ども議員は41名（1名欠席）。黒須市長、石川教育長、田中・岡部両副市長以下市の部長職や市議会議員、保護者をはじめとする139名もの傍聴者の拍手に迎えられ、堂々と議員席に着席しました。



「私は今日はワクワクしている。いつもの議会の場所だが今日は特別緊張をしている。

子ども議会は皆さんが主役となって八王子の未来を考えるもの。単に子どもの意見を大人が聞くと言う場ではない。八王子の未来を背負う子どもたちが、自分のまちがこうなったらもっとよくなるんじゃないか、あるいは自分もこんなことをやってみようということを出し合って、大人も子どもも一緒になって八王子をいいまちに変えていく機会。」という黒須市長の挨拶で開会しました。



子ども議員は7つの委員会に分かれて市に提案を行いました。すべての提案には市長、教育長が自ら丁寧な答弁をしました。

特に印象的だったのは「子どものしあわせ委員会」による「子どものしあわせ課をつくろう」の提案。これからは子どもの目線で子どもの施策を考えられるよう、こども政策課を子どものしあわせ課に変えるという答弁でした。もちろん一番驚いたのは提案した子ども議員たちだったでしょう。

終了にも市長は「(提案については)すぐにできることはすぐやる。少し難しいと思うものは、真剣に考え、できるだけ提案に沿えるように努力を重ねていきたいと思う。そして皆さんが大人になった時、子ども議会の時に提案したことが実現して、八王子のまちが良くなったと思ってもらえるように頑張る。」と挨拶しました。





本会議

- ・ 日時：平成20年8月31日（日） 午後1時～3時30分
- ・ 場所：市役所議会棟 議場

委員会名	発言題目	要旨
みんなの遊び場委員会	みんなの遊び場について	身近にある中学校や市民センターを使って、ボールあそびが出来たり、放課後に遊べる場所をつくらう
緑の学校委員会	地球温暖化の防止策として、学校に緑のカーテンや屋上庭園をつくらう	地球温暖化防止に向けて、身近な学校からはじめるため、緑のカーテンや屋上庭園をつくらう
エコバッグ推進委員会	エコバッグを推進しよう	エコバッグ推進運動の提案 エコバッグと共に商店街で使えるエコバッグポイントカードを配布する エコバッグのPR
たかんこう委員会 (高尾 + 観光)	高尾山を活かして八王子をPR	多くの人を訪れる八王子で1番の観光名所「高尾山」を活かして、八王子の素敵なところをPRしよう
Greenever City委員会 (グリーンエバー)	Greenever Cityをめざして	八王子駅周辺の緑化を進めるための駅前芝生化プロジェクトの提案
子どものしあわせ委員会	「子どものしあわせ課」をつくらう	子どもの目線で、いじめをはじめ子どもの悩みを解決するために「子どものしあわせ課」をつくる
八王子交通委員会	自転車専用道路の設置について	のびのびと自転車で走れるまちづくりに向けた提案

子ども議員による委員会と発言について

子ども議会では、基本的には各委員会で出来る提案、質問はひとつだけ。意見が分かれたり広がったりしながら提案は何度も変わりました。それを根気強く聴きながら、「子どもたちの力で」まとめさせたのが学生サポーターです。出来上がった発言は子どもだから未熟かも知れませんが、でも子どもだから考えられたことなのかも知れません。その一つひとつが42人の思いです。



はちおうじ子ども議会



市議会議長のあいさつ



みんなの遊び場委員会の発言



市長の答弁



教育長の答弁



緑の学校委員会の発言



エコバッグ推進委員会の発言



たかんこう委員会の発言



Greenever City 委員会の発言



子どものしあわせ委員会の発言



八王子交通委員会の発言



本会議終了後 市長と一緒に

「提言」

子ども議会の目的の一つは、こども育成計画の後期計画策定に向けて、提言書を提出することでした。

本会議で「みんなの遊び場委員会」と「子どものしあわせ委員会」から出された、子どもに直接関係する提案と、そのほかの委員会による、子どもが暮らす環境についてのいくつかの提案をまとめたものを「提言書」として、計画策定を行う「八王子市こども政策推進協議会」に提出することになりました。



「報告会と解散式」

子ども議会最後の取組みとして市民向けの報告会を開催しました。

子ども議員と学生サポーターによる活動報告の後、提言書が読み上げられ、議長・副議長から「八王子市こども育成計画」の後期計画を策定する「八王子市こども政策推進協議会」の山本会長、柘澤副会長へ提言書が手渡されました。山本会長は「協議会として十分に検討して皆さんの考えを活かしていきたい。」とのコメントしました。

続いて子ども議員の解散式を行いました。代表の野村啓介議員からは「私たち子どもの意見でも、仲間と協力し、一生懸命考え、伝えることができれば、大人は真剣に答えてくれることを知った。この活動が八王子の子どもたちにとって、大きな一歩になってほしいと思う。」とあいさつがありました。

最後に、同じく今回で役割の終了する学生サポーターを代表した池田千帆さんは「“みんな違ってみんないい”という詩があるが、私はこの活動を通して改めてこの意味を考えさせられた。十人十色の意見があったが、そのどれもがすばらしい意見で、今までだめだと思っていたことも正しいのでは、と感じさせる、子どもにはそんな力があつた。言葉ではいえないが非常に大切なことを学んだ気がする。」と締めくくりました。



市長あいさつ



子ども議員活動報告



提言書朗読



提言書提出



解散のあいさつ



学生サポーターのあいさつ

子ども議会報告会 / 子ども議員解散式

- ・ 日時：平成20年11月2日（日） 午後1時～2時30分
- ・ 場所：北野市民センター ホール